

体育

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
体育	レクリエーション	3	3年次・M群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
現代保健体育 改訂版 （大修館）		Active Sports		3年次のスポーツ科学系列選択者

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
レクリエーションの特性を理解し、チームや自分の課題に適した練習方法やルールを工夫する能力を養う。	誰もが楽しめることを目標にゲームを行い、お互いを教えあったり、協力し合いながら仲間との交流を深める能力を養う。	生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	1	学 期			
学 習 の 年 間 計 画	1	・パドルテニス ・ソフトバレーボール ・セパタクロ ・フットサル ・タッチラグビー ・ドッジボール ・グラウンドゴルフ ・ターゲットバードゴルフ ・ゲートボール ・フライングディスク ・カバディ ・リズム縄跳び の中から選択	4	・レクリエーションを理解する。 ・ルールを理解する。 ・交流のゲームを行う。 ・自己実現のゲームを行う。 ・ゲームを創作する。 ・各自で創作したゲームを実際行う。	1 2 1 3 1 2 3
			5		1 2
			6		1 2 1 2 3
			7		1 3 1 2 3
			9	・レクリエーションを理解する。 ・ルールを理解する。 ・交流のゲームを行う。 ・自己実現のゲームを行う。 ・ゲームを創作する。 ・各自で創作したゲームを実際行う。	1 2 1 3 1 3
			10		1 2 3 1 2 3
			11		1 2 3 1 2 3
	2	・パドルテニス ・ソフトバレーボール ・セパタクロ ・フットサル ・タッチラグビー ・ドッジボール ・グラウンドゴルフ ・ターゲットバードゴルフ ・ゲートボール ・フライングディスク ・カバディ ・リズム縄跳び の中から選択	12		1 2 1 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

3 学 期	3 学 期	・パドルテニス ・セパタクロ ・ソフトバレーボール ・フットサル ・タッチラグビー ・ドッジボール ・グラウンドゴルフ ・ゲートボール ・ターゲットバードゴルフ ・カバディ ・フライングディスク ・リズム縄跳び の中から選択		1	・レクリエーションを理解する。 ・ルールを理解する。 ・交流のゲームを行う。 ・自己実現のゲームを行う。 ・ゲームを創作する。 ・各自で創作したゲームを実際行う。	2 3 1 2 1 2 3
				2		1 3
				3		
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○戦術を使い、相手との攻防にあった作戦による試合が行われている。 ○種目に応じた個人的、集団的の技能の構造、技能を高めるための合理的な練習計画の立て方を知っているか。		○技能の段階に応じて戦術を考え、相手との攻防にあった作戦を立てられている。		○技能の段階に応じて作戦を立てて、勝敗を競う合う球技の楽しさや喜びを味わっている。
	手 段	・実技テスト ・個人記録、動画確認 ・定期考査の知識問題の解答		・練習中や試合中の行動の観察 ・レポートや課題の内容 ・定期考査の論述問題の解答		・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況 ・課題、レポートへの取組の評価
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・授業や提出物、定期考査における「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価する。 ・実技点：考査点：平常点を5：3：2の割合で評価する。			
学習上の留意点		・実技を中心としているため出席を重視する。 ・速やかに更衣を行い、授業開始に遅れないようにする。ファイル、タブレット、筆記用具を持参する。 ・先入観を持たず、主体的に取り組む場面を増やしていく。 ・個人の身体の特徴によって記録は異なる。仲間との記録の比較ではなく、自分の記録の推移を評価し、懸命に取り組んでいる仲間を尊重すること。				